

島根町地区における塩蔵ワカメ加工の協業化による所得向上

1. 島根町地区の概要

(1) 主な漁港

加賀 / 野波 / 多古 / 沖泊 / 瀬崎 / 野井

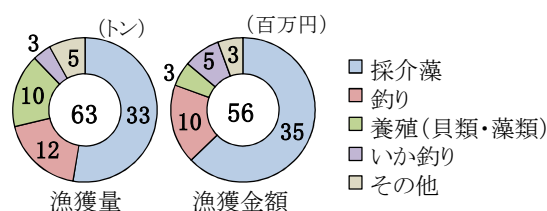
(2) 主な沿岸自営漁業

採介藻 / 釣り / 養殖(貝類・藻類)

(3) R4年(取組開始前) 漁獲実績

漁獲量 63トン(ワカメ:0.1トン)

漁獲金額 5,600万円(ワカメ:2.3万円)



R4年 島根町地区 沿岸自営漁業 漁獲実績

2. 取組の経過及び概要

島根町地区では、沿岸自営漁業の経営の安定化のため、新たな収入源の確保が課題。

そこで、以下のポイントから天然ワカメの活用を検討。

● 天然ワカメ選択のポイント

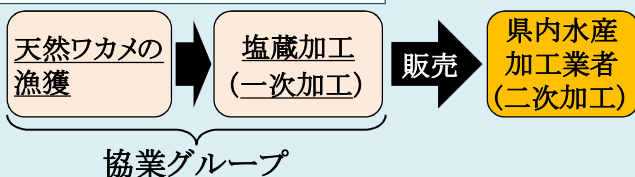
- ・他漁法と比べて初期投資が少なく、技術習得も比較的容易
- ・地区に天然ワカメ資源が豊富かつ低利用
- ・県内水産加工業者からワカメ製品の原材料として、塩蔵ワカメを製造して欲しいとの需要あり

認定新規漁業者を中心に協業グループ(漁業者6名、加工作業4名)を結成し、「沿岸自営漁業所得向上支援事業」により、塩蔵加工に必要なボイル機・攪拌機等を整備。

R5年3月から、天然ワカメを買取または採取して塩蔵ワカメを製造し、県内水産加工業者へ販売開始。

R6年には同事業により省力・高火力のボイル機を整備し、塩蔵ワカメ加工を効率化。

ワカメ塩蔵加工・販売の流れ



天然ワカメの漁獲



ワカメの塩蔵加工作業

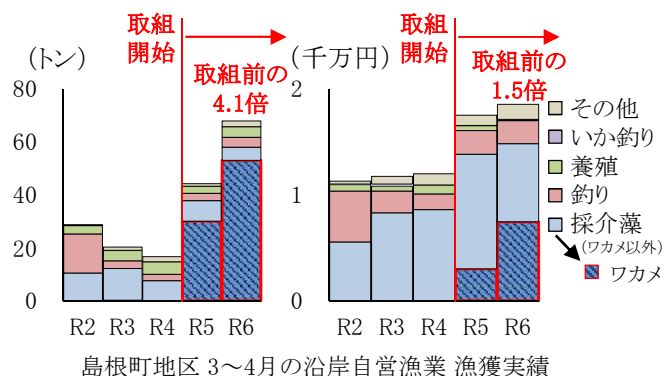
3. 取組の成果

(1) 天然ワカメ資源の有効活用

R6年3～4月(天然ワカメの漁獲時期)の天然ワカメの漁獲量は約53トン、漁獲金額は約745万円に増加。

(2) 沿岸自営漁業者の所得向上

地区全体のR6年3～4月の漁獲量はR4年(取組開始前)の4.1倍、漁獲金額は1.5倍に増加。認定漁業者等の操業モデルに天然ワカメを組み込み、個別経営体の所得向上に寄与。



<グループ代表者から一言>



島根町地区 認定新規漁業者 奥 広樹 氏

塩蔵ワカメ加工の協業化により、沿岸自営漁業者の所得向上に繋げることができた。
今後更に事業を拡大し、地区の沿岸漁業を盛り上げていきたい。

4. 課題と今後の取組方向

- (1) 協業グループの拡大による天然ワカメの漁獲量の増大及び安定供給が必要
- (2) 地域全体の取組とすることで、漁村の維持・発展を推進